

第8回あっぷアップ大賞

GM (ゲームマスター) ・出題：あるでん茶

概要

歌詞クイズとイントロクイズを楽しむ。

ルール

予選～ちょい歌詞ゴールデンアンサー

- ちょい歌詞の (歌詞のごく一部から曲名を答える) ペーパークイズ。13問。
- いわゆるゴールデンアンサー形式で行う。
 - 1人1問ずつ指定して解答するのを、(参加プレイヤーが4人であると信じて) 3巡行う。解答順の決定にはトランプでも使う。
 - N巡目の解答が正解であれば、そのプレイヤーが(N+1)点を得る。それ以外の正解者は1点を得る。
 - N巡目の解答が不正解であれば、正解したプレイヤーが(N+1)点を得る。
 - 残った1つの問題 (ゴールデンアンサー) を正解すると偉い。
 - という感じのものを、<http://quiz.a.la9.jp/2004/vol5.htm> から拝借 (した Adak 氏から拝転借) 。
- ゴールデンアンサー正解者>GM>ゴールデンアンサー不正解者の順、同カテゴリ内は得点→正解数などで順位を決定する。

決勝～北海道夏フェス 2019

- 参加者 (各プレイヤー+GM) は予選順位の順に (仮想的に) 並ぶ。
- 8問限定の早押しイントロクイズ。その楽曲の曲名を答える。
 - 出題するのはすべて **RISING SUN ROCK FESTIVAL 2019 in EZO** もしくは **JOIN ALIVE 2019** で演奏された楽曲である。
- いわゆるエンドレスチャンスを採用する。
 - 正解が出るまで、何人でも解答できる (もちろん1人1回に限る) 。
- 早押し不正解の場合、自分のポジションが1つ下がる。
 - 最下位での誤答は次問から2問の間、ストーン状態となる。
 - ストーン状態となった場合、曲の再生が終了するまで解答権を得ることができない。
 - この「2問」を今大会中に消化できなかった場合は、次回大会 (の決勝) に引き継ぐ。
- 早押し正解の場合、自分のポジションが2つ上がる。
 - 最上位で正解すると、自身と2番手の人の間に透明ランナーが出現する。
 - 透明ランナーは、最下位になった時点、あるいは全問題の出題終了後に消滅する。
- 最終的なポジションが高いほど偉い。

補則

- 本大会は、あっぷアップ大賞年間グランプリ 2019 に属する (第7回のレポートを参照のこと) 。
- 解答基準は、ゆるトロを採用する。
- 本ルールに定めのない事項については、一般に公正妥当と認められる (イントロ) クイズの慣行に従う。

出題・結果

予選

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 洗濯物に絡まりますが | 8. 目配せしてる仲間 |
| 2. 動くな時間 | 9. お風呂上がりのアイス |
| 3. 男ならカッコつけろ | 10. いちご味のかき氷 |
| 4. 彼を射止めるなんてさ | 11. ビールを飲む横顔 |
| 5. 愛が芽生えた July | 12. 赤レンガの駐車場で |
| 6. わたしやっちゃった | 13. トナカイのツノ |
| 7. 熱いものしかイヤなの | |

(解答は選択された順に掲載する)

【Adak】13. クリスマスソング (back number) / 清水依与吏 / B8 /

2A. ちょい歌詞には言われて初めて思い出すものと、知っていれば言われなくても思い出せるものがあるって、これは後者だと思う。ただし解答者の年齢層にはマッチしていなかったということか。

【明風】8. 黒い羊 (樺坂 46) / 秋元康 / C8 /

1 サビ後半。「には」を入れても10字に収まったのか。2019年のレコード大賞優秀作品賞であるとともに、雑踏イントロの曲としても記憶にとどめておきたい。

【今更】2. 道 (EXILE) / Shogo Kashida / B8 /

1 サビ後半。時間に対して「生まれ」とはよく言うが、「動くな」とはなかなか言わない。そんな作詞者だが作品がこれ以外ほとんどヒットしない。何者？

【yomi】9. あったかいんだからあ♪ (クマムシ) / クマムシ / A6 /

ボケ?の部分。ただし、そういうものを口にするときは得てして身も心もあったかい、という解釈もある?いずれにしても、言われないうちに出せない系の出題とは思っていた。

【Adak】10. ミラクル (miwa) / miwa / B9 /

1 サビ後半。ベタ歌詞かと思ったが、年代が合わなかった模様。「共同作業罰ゲーム」の逆パターンか。

【明風】3. いいわけ (シャ乱 Q) / つんく / C7 / 今更○+3

サビ。これはちょい難かと思っていたが、さすが今更王と言ったところ。「男なら〜」→「女なら?」と考えたと答えにたどり着くかもしれない。

【今更】6. 君と夏フェス (SHISHAMO) / 宮崎朝子 / C7 /

Cメロ?わかる人は言われればわかる、ぐらいの難易度だと思う。偶然なのか必然なのか、(多めに入れた)新しめの曲がここで一掃された。

【yomi】4. 気分爽快 (森高千里) / 森高千里 / C7 /

2A. 言われれば思い出す系だったか。この曲は一般でもそれなりの知名度があるが、歌詞の内容を知らないという(一般)人は多いかもしれない。

【Adak】1. 3月9日 (レミオロメン) / 藤巻亮太 / C9 / 明風○+4

2A. これも言われないうちに分らないかなと思ったら、正解者がいた。明風にとって唯一の正解だったがここで撃沈。正解が1問の人がもう1人いたが、他の正解者との兼ね合いでゴールデンアンサーになるかならないかが分かれてしまった?単独正解の方が不利になるのは、この形式の仕様なのか、それとも出題の構成に難があったのか。

【明風】12. 白い恋人達 (桑田佳祐) / 桑田佳祐 / B8 / 今更○+4、yomi ○+4

1B. 正解が出やすいように後から補給した問題なので、まあ想定通り。

【今更】7. Boom-Boom-Boom (愛内里菜) / 愛内里菜 / E9 /

3 サビ。愛内里菜でもコーナーを突く知名度の曲。「PLAYGIRL」あたりのイイ感じの頃やね。こういう雰囲気歌詞だけ集めた企画を打とうと考えたこともあったが、問題の集まりが意外と芳しくなくて断念した。この人は最近Rという名義で音楽活動を行っているらしい。プログラミング言語のRもそうだけど、検索エンジンとの相性がよろしくない。

【yomi】11. 冬がはじまるよ (槇原敬之) / 槇原敬之 / B8 / 今更○+4

1 サビ。これは複数の正解者を想定していたが、yomiとしてはこちらを選ぶしかないわけで、ELTがカバーしていて、「恋をしている」の両A面として収録されている。この曲も「恋をしている」もサッポロ「冬物語」のCMソングであり、「恋をしている」の歌詞中에서도ビールを飲んでいる。

【ゴールデンアンサー】5. my graduation (SPEED) / 伊秩弘将 / B8 / 今更○、yomi ○、Adak ○

1 サビ。正解に至りにくいと思っていたこれが最多正解になるのだから、ちょい歌詞はまだまだよくわからない。伊秩弘将はSPEED関連の業績が大き過ぎて、他の仕事がほとんど知られていない(久しぶりにこの名前をタイプした)。というのは過言かもしれないが、現在も楽曲提供を中心に活動しているらしい。

(レイアウトの都合上、決勝はページを改める。)

決勝

(初期並び順：今 y A あ明)

1. 愛は勝つ／KAN／A6／今更○→今□ y A あ明
RSR に出演。念のため記しておくが、2019年のRSRは悪天候の影響で初日が中止となった。今回出題したのは、2日目に演奏された楽曲となる。タイトルをアナグラムすると「厚い墓」になる。最近なら「熱いハカ」か。
2. ガラナ／スキマスイッチ／C8／今更○→今□□ y A あ明
Join Alive に出演。押し合いになるも、ガラナ飲料で知られる小原のお膝元に住む今更さんが...と書こうとしたのだが、小原は七飯町だったのか。ガラナ飲料は主に北海道で多く流通しており、お土産に選ばれることもなくはない。ちょっと前のものだけど、北海道ファンマガジンに各製品を比較した記事がある。<https://pucchi.net/hokkaido/guarana/kind.php>
3. Crazy Party Night ～ぱんぷきんの逆襲～／きゃりーぱみゅぱみゅ／D6／
Join Alive に出演。夏フェスでこれをやるというのはなかなかクレイジーに感じる。どういう流れでこの曲に持っていったのかが気になる。
4. アゲイン／WANIMA／C6／
RSR に出演。北イマの宿敵 WANIMA、と書こうとしたがそんなのはたくさんいるか。「ともに」「やってみよう」の存在ぐらいは把握しているが「いいから」あたりを押さえることを2020年の目標にしてみる。
5. 星屑の街／The Gospellers／D9／Adak×→今□□ y あ A 明／
RSR に出演したが、18時台だったので星屑の街というほどではなかった。「新大阪」という誤答だったが、どっちも「ウー」で始まるので即押ししたときは間違えないようにしなければと警戒していた若き日の自分を思い出した（「新大阪」はその後すぐに歌詞が始まる）。
6. Space Sonic／ELLEGARDEN／D8／
RSR に出演。世間的にどのくらい認知されているのかはわからないけど、北イマではあまり打つ人がいないバンド。まして「Red Hot」を「Red Hat」と言い間違えそうになるのは、イントロクイズ界広しといえども私くらいのものである（LinuxのディストロにRed Hatというのがあった）。いや、Hotのoの発音はアに近いので、うまくごまかせるかもしれない。
7. KOKYAKU 満足度1位／ヤバイTシャツ屋さん／D7／
Join Alive に出演。9月に札幌で開催されたオータムフェストの会場で、たまたまだけこの人たちの「癒着Night」が流れているのを耳にした。その後の出来事を考えると、東京のアレのアレを札幌で行うことになったのは、札幌のアレがアレと〇〇した結果であることを暗示していたのではないかと勘繰ってしまう。いや、本当にたまたまなんだけどね。
8. 目を閉じておいでよ／BARBEE BOYS／C6／今更○→今□□□ y あ A 明
Join Alive に出演。BARBEE BOYSは2018年に「一夜限りの」復活を果たしてからはポチポチライブに出演している。某検索エンジンでこのバンドを調べるとレコメンドに「杏子死亡」などが出てきたが、少なくとも本レポートの執筆時には存命であるはず。

結果と所感

正解を出したのが予選トップの今更だけということで、ポールトゥウィンを飾った。あとは誤答による入れ替わりがあっただけで、予選のウェイトが相対的に大きくなったと言える。

その予選だが、全体的な正解率が伸びなかったこともあり、せっかくのゴールデンアンサー形式が機能しなかった感がある。それでも、「ひらめきもかんじん」（←これもちょい歌詞問題）なちょい歌詞形式は、正解者が見えにくい分ゴールデンアンサー形式との相性は悪くないと感じたので、ちょい歌詞の出題をブラッシュアップすることで、この形式が再び陽の目を見ることもあるかもしれない。

なお、第7回とほぼ正反対の順位になったため、年間グランプリ争いが非常に混沌としたものになった。13点のAdakがトップを走るも、以下12点、10点、10点、9点ということで、全く予断を許さない。

(レポート公開：2020/01/07 version 1.0)